



と、思うようになりまし
た。
平成30年に起こった西日
本豪雨災害では、小屋浦地
区で16人の尊い命が奪われ
ました。当時の自分はまだ
小さかったですが、あの時
も今と同じように、悲しむ
人を減らしたい、小屋浦の
人たちの笑顔を守りたい
と、強く願ったことを覚え
ています。今でも、日本各
地でさまざまな自然災害が
起きています。ニュースで
は、死者の方の名前や悲し
んでいる人たちの顔が映し
出されます。その度に、一
人でも多くの人を助けたい
という思いが強くなってい
ます。

今、ぼくは、小学6年生
です。亡くなる方や悲しむ
方をゼロにしたい、小屋浦
を明るくしたいと願って、
総合的な学習の時間で、「防
災カルタ」を作りました。
昨年度からいろいろな場所
へ行って、「防災カルタ」
を通してたくさんの方の防
災意識を高めてきました。
ぼくたちが作った「防災カ
ルタ」は、広島県府中市、
山口県、大分県、さらに
は、タイのバンコクにまで
広まっています。ぼくたち
の思いを、日本をこえて、
世界へと届けることができ
て、とてもうれしく感じて
います。そして、自分の夢
に向かって一歩進められた
ような気がしています。

一つ目は、勉強です。医
者になるためには、いろい
ろな試験を乗り越えないと
いけません。だから、しっ
かりと勉強に励んで、必ず
試験に合格したいです。
二つ目は、苦しんでいる
人がいたら、見捨てないこ
とです。勇気を出して声を
かけることで、いち早く異
変に気づき、周りの助けや
救急車などを呼ぶことがで
きると思います。
三つ目は、自分で考えて
行動することです。小学校
に来てくださったことのあ
るスーパージョランテアの
尾畠さんが、
「みなさんに一番伝えたい
ことは、自分の頭で考え
ることです。そして、何
か少しでも行動を起こす
ことです。」
と、話してくださいまし
た。緊急事態の時は、素早
く判断することが重要で
す。自分で考えて行動する
ことで、一人でも多くの命
を救いたいのです。

現在、小屋浦には、病院
が一つありません。一方
で、高齢の方がたくさん住
んでおられて、病院へ行く
には、小屋浦の地域外や町
外に出かけないといけな
いと思います。



愛の献血にご協力ください

と き 12月21日(土)
10時~12時、13時15分~16時
ところ パルティ・フジ坂
問合せ 役場保険健康課 ☎820-1504



健康な皆さんの善意
の献血が、輸血を必
要としている方の命
を救います。
ご協力お願いします。



いてくれる。ぼくがきつ音
だということを知らなかつ
たり、気付いていなかった
りする人もいるだろう。も
し、これからぼくのきつ音
がひどくなっても、ぼく
は、多分、大丈夫だと思っ
ている。それは、坂小学校
のみんなはとても優しく、
小さな頃から、ぼくのこと
をありのまま受け入れてく
れているからだ。

しかし、みんながみん
な、きつ音の人に優しいと
いうわけではないだろう。
それは、きつ音のことを知
らない人がまだまだたくさ
んいるからではないだろう
か。知らないことで誤解さ
れたり、変に思われたり、
いじめられたりする人もい
るかもしれない。そんなこ
とがあつたら、きつ音の人
はもう話せなくなるかもし
れない。
学校で、「大きな声では
きはきあいさつをしよう。」
とか、「自分から進んであ
いさつをしよう。」とか言
われることがある。でもそ
れは、きつ音の人にとって
辛い時もあると知ってほし
い。「おはよう。」や「あり
がとう。」は、ぼくたちに
とってもすごく言いづらい
言葉のひとつだからだ。き
つ音の種類や症状、辛さな
どを少しでも知ってくれる
人が増えたら、ぼくたち
は、きつ音を気にせず、か
くさず、安心して話せるよ
うになると思う。

きつ音になる人は100人に
ひとりくらいらしい。
「ぼく、100人にひとりのい
つ材かもしれない。」
と言ったら、お母さんは
笑っていた。坂小学校の児
童は313人だから、計算上、
坂小にはきつ音の人が3人
はいるということになる。
もしかしたら、ぼくと同じ
気持ちの人が坂小のどこか
にいるのかもしれない。



ぼくは、これから、きつ
音のことをたくさんの人に
伝えたいし、知ってほし
い。世の中には、様々な病
気や障害があるけれど、伝
える努力や知る努力をする
ことで、みんなに理解が広
がり、差別やいじめのない
世界になるといいなと、ぼ
くは思う。

自分の夢に向かって

小屋浦小学校6年
灘 翔真

ぼくは、これから、きつ
音のことをたくさんの人に
伝えたいし、知ってほし
い。世の中には、様々な病
気や障害があるけれど、伝
える努力や知る努力をする
ことで、みんなに理解が広
がり、差別やいじめのない
世界になるといいなと、ぼ
くは思う。

じ、本当に感謝していま
す。
ぼくが医者になろうと強
く思うようになった理由
が、もう一つあります。ぼ
くは、小さい頃から医療ド
ラマを見ることが好きでし
た。たくさんの方の命を
救って、患者さんだけでな
く、家族や親しい人たちに
笑顔にしている姿を見て、
自分も医者の仕事をやりたい
と思うようになりました。

特に好きな医療ドラマ
は、「TOKYO MER
〜走る緊急救命室〜」です。
ドラマの中で、主人公の喜
多見チーフが言っていた台
詞が心に残っています。
「待っていたら助けられな
い命がある。」
ぼくは、この言葉を聞いて、
もしも目の前に苦しん
でいる人がいたら、真っ先
に助けに行きたい、自分が
できることを尽くしたい